

平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アルバイトタイムス

コード番号 2341 URL <http://www.atimes.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 垣内 康晴

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 堀田 欣弘

TEL 03-3254-2501

四半期報告書提出予定日 平成27年1月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	3,630	10.2	730	△5.6	727	△5.8	619	△10.6
26年2月期第3四半期	3,295	1.6	773	12.3	772	11.5	693	△7.1

(注) 包括利益 27年2月期第3四半期 616百万円 (△11.2%) 26年2月期第3四半期 694百万円 (△7.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	21.61	—
26年2月期第3四半期	23.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第3四半期	4,872	4,227	86.8	148.38
26年2月期	4,768	4,019	84.3	137.68

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 4,227百万円 26年2月期 4,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	8.00	8.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,715	7.0	951	7.8	948	7.7	858	3.2	30.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 有限会社名古屋adM 、除外 1社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期3Q	33,637,249 株	26年2月期	33,637,249 株
② 期末自己株式数	27年2月期3Q	5,144,056 株	26年2月期	4,444,056 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期3Q	28,672,974 株	26年2月期3Q	29,375,965 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行による金融緩和の継続により企業収益の改善が見られ、景気は緩やかな改善傾向で推移しました。しかしながら、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動や円安による物価上昇懸念等、先行き不透明な状況は継続しております。

雇用情勢については企業収益の改善が続く中で採用意欲は持続しており、当社の戦略地域である静岡県においても有効求人倍率は1.10倍（平成26年10月）と雇用情勢の改善傾向が見られます。

このような状況において当社グループでは、魅力ある情報サービスを開発・展開し、商品力・販売力を強化することで地域の競争力強化と収益基盤の拡大を図ることに注力しました。

当社主力事業である求人情報事業では、人員等の増員により営業力の強化を図り、地域競争力の強化に努めました。正社員向け求人サービスの強化にも取り組み、正社員の転職・就職情報サイト『JOB（ジョブ）』の連動イベントである『シゴトフェア』を静岡地域の東部、中部、西部地区で各2回、名古屋地域で3回、昨年に引き続き開催し、人材サービスを拡大した取り組みを展開しております。また、名古屋地域での販売強化、事業収益の拡充を図るため、平成26年9月に名古屋市内、近郊地域及び尾張地域に合同求人チラシを発行している有限会社名古屋adMの株式を100%取得し、連結子会社化いたしました。

前連結会計年度に定期刊行化したペット関連情報誌『WONDERFUL STYLE（ワンダフルスタイル）』においては、リアルイベント『DOG（ドッグ）！フェスタ』を静岡県内全エリア（東部地域・中部地域・西部地域）で継続開催することで商品との融合性を深め、収益基盤の拡大に取組みました。また、テーマパークや商業施設等とドッグイベントを共同開催することにより商品ブランドの認知向上を図りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高は3,630百万円（前年同四半期比10.2%増）となりました。売上原価は、1,029百万円（前年同四半期比12.4%増）、販売費及び一般管理費は、営業力強化のための人件費等が増加し、1,870百万円（前年同四半期比16.5%増）となり、営業利益は730百万円（前年同四半期比5.6%減）、経常利益は727百万円（前年同四半期比5.8%減）、四半期純利益は619百万円（前年同四半期比10.6%減）となりました。

セグメント別の業績（セグメント間の内部取引消去前）を示すと、次のとおりであります。

(情報提供事業)

情報提供事業では、求人需要の回復により、主力事業である『DOMO（ドモ）』、『DOMO NET（ドモネット）』及び『JOB』の販売が好調に推移した結果、売上高は3,003百万円（前年同四半期比9.8%増）、セグメント利益は1,142百万円（前年同四半期比1.2%増）となりました。

(販促支援事業)

販促支援事業では、フリーペーパーの取次において既存顧客の掲出量が拡大し、首都圏・中京・関西地域において販売が増加し、また、ダイレクトプロモーションにおける顧客獲得が順調に進んだ結果、販促支援事業における売上高は648百万円（前年同四半期比15.0%増）、セグメント利益は99百万円（前年同四半期比6.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が4,872百万円（前連結会計年度末比2.2%増）、負債が644百万円（前連結会計年度末比13.8%減）、純資産が4,227百万円（前連結会計年度末比5.2%増）となりました。また、自己資本比率は86.8%となりました。

資産の部では、流動資産が3,993百万円（前連結会計年度末比1.9%増）となりました。内訳として、現金及び預金が2,969百万円（前連結会計年度末比0.0%増）、営業債権（受取手形及び売掛金）が659百万円（前連結会計年度末比17.1%増）等となったためです。

固定資産は879百万円（前連結会計年度末比3.4%増）となりました。内訳として、有形固定資産が631百万円（前連結会計年度末比2.0%増）、無形固定資産が83百万円（前連結会計年度末比6.1%増）、投資その他の資産が164百万円（前連結会計年度末比7.5%増）となったためです。

負債は644百万円（前連結会計年度末比13.8%減）となりました。これは、未払金が440百万円（前連結会計年度末

比10.9%増)、賞与引当金が51百万円(前連結会計年度末比62.5%減)等となったためです。

純資産は4,227百万円(前連結会計年度末比5.2%増)となりました。これは、四半期純利益の計上、剰余金の配当により利益剰余金が4,021百万円(前連結会計年度末比10.6%増)、自己株式の取得により自己株式が792百万円(前連結会計年度末は617百万円)となったためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期業績予想につきましては、平成26年4月8日付「平成26年2月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて発表した業績予想を修正いたしません。

なお、今後の業績の推移に応じて修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は平成26年9月1日付けで、有限会社名古屋adMの発行済株式の100%取得いたしました。これにより当第3四半期連結会計期間より、有限会社名古屋adMは当社の連結子会社となりました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,968,701	2,969,563
受取手形及び売掛金	563,068	659,328
その他	385,861	365,032
貸倒引当金	△400	△632
流動資産合計	3,917,232	3,993,292
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	155,020	161,092
土地	444,475	444,475
その他(純額)	19,711	25,940
有形固定資産合計	619,206	631,508
無形固定資産		
ソフトウェア	68,383	73,189
その他	10,606	10,606
無形固定資産合計	78,989	83,796
投資その他の資産		
その他	154,534	165,697
貸倒引当金	△1,958	△1,606
投資その他の資産合計	152,575	164,090
固定資産合計	850,771	879,395
資産合計	4,768,004	4,872,688
負債の部		
流動負債		
未払金	397,370	440,693
賞与引当金	136,365	51,091
その他	211,181	151,953
流動負債合計	744,918	643,738
固定負債		
繰延税金負債	3,582	1,120
固定負債合計	3,582	1,120
負債合計	748,500	644,859
純資産の部		
株主資本		
資本金	455,997	455,997
資本剰余金	540,425	540,425
利益剰余金	3,634,938	4,021,214
自己株式	△617,965	△792,505
株主資本合計	4,013,396	4,225,131
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,107	2,696
その他の包括利益累計額合計	6,107	2,696
純資産合計	4,019,503	4,227,828
負債純資産合計	4,768,004	4,872,688

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	3,295,580	3,630,382
売上原価	915,953	1,029,600
売上総利益	2,379,627	2,600,782
販売費及び一般管理費	1,605,829	1,870,686
営業利益	773,797	730,095
営業外収益		
受取利息	394	379
受取賃貸料	560	632
その他	1,784	1,187
営業外収益合計	2,738	2,198
営業外費用		
自己株式取得費用	1,905	1,905
投資事業組合運用損	1,325	1,051
その他	635	1,342
営業外費用合計	3,866	4,299
経常利益	772,670	727,995
税金等調整前四半期純利益	772,670	727,995
法人税、住民税及び事業税	64,400	65,351
法人税等調整額	14,917	42,822
法人税等合計	79,318	108,174
少数株主損益調整前四半期純利益	693,352	619,821
四半期純利益	693,352	619,821

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	693,352	619,821
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	782	△3,410
その他の包括利益合計	782	△3,410
四半期包括利益	694,134	616,410
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	694,134	616,410
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第3四半期連結累計期間において、平成26年4月8日開催の取締役会に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が174,539千円増加し、当第3四半期連結累計期間末において792,505千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	情報提供	販促支援	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,734,469	546,352	3,280,821	14,759	3,295,580	—	3,295,580
セグメント間の内部売上高 又は振替高	94	17,952	18,046	—	18,046	△18,046	—
計	2,734,563	564,304	3,298,867	14,759	3,313,627	△18,046	3,295,580
セグメント利益	1,129,760	93,652	1,223,413	8,876	1,232,289	△458,492	773,797

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材サービス等であります。

2. セグメント利益の調整額△458,492千円は、セグメント間取引消去3,330千円及び全社費用△461,822千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	情報提供	販促支援	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,002,557	627,825	3,630,382	—	3,630,382
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,030	21,111	22,141	△22,141	—
計	3,003,587	648,936	3,652,524	△22,141	3,630,382
セグメント利益	1,142,806	99,753	1,242,560	△512,464	730,095

(注) 1. セグメント利益の調整額△512,464千円は、セグメント間取引消去3,330千円、のれん償却額△9,384千円及び全社費用△506,410千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。